

## いじめ防止授業 授業例

※実際の授業内容は担当弁護士と協議していただき、ご要望等にも柔軟に対応いたします。

事前の打合せ		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容についての確認、修正</li> <li>・グループワークの有無、タイミング、グルーピング</li> <li>・実際の遺書の引用の適否</li> <li>・ワークシートの要否や内容、作成の役割分担</li> <li>・スライドの使用の有無、使う場合のデータの渡し方、機器（パソコン、プロジェクター、スクリーン等）の準備</li> <li>・事前学習の要否、内容、方法</li> <li>・事後学習への繋げ方</li> <li>・児童生徒の反応が薄い場合や発言を促す際の役割分担</li> </ul>		
段階	学習活動	指導内容・留意点
導入（3分）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師から講師の紹介</li> <li>・講師自己紹介</li> <li>・弁護士の仕事の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弁護士法1条や弁護士バッジに描かれた天秤（自由・正義）とひまわり（公正・平等）を紹介し、弁護士が人権（安心して、自信を持って、自由に毎日過ごすこと）を守る立場であることを説明する。</li> </ul>
展開1（5分） 「いじめられる側が（も）悪いか？」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめられる側が（も）悪いか？」について、児童生徒の意見を聞き、講師が質問をして深めていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめる（いじめ返す）以外の方法はないか、なぜわざわざいじめる（いじめ返す）という方法を選択するのか」「あなたは誰に対しても完璧な人間なのか、あなたもいじめられても仕方がないことになってしまわないか」</li> <li>・いじめる側は「いじめはいけないこと」とわかっていながら、感情的な理由で「こういう場合ならいじめていい」と都合のいい言い訳をしているにすぎないことに気付かせる</li> </ul>
展開2（10分） 「絶対に」いじめが許されない理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ、いじめ自殺の実例の紹介（裁判例や報道等あった過去の事件やその他弁護士の経験）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただし、「死」に焦点を当てすぎない。</li> <li>・「生き地獄だ」と感じさせ人を追い詰める、人権を傷付ける（安心して、自信を持って、自由に毎日過ごせなくさせる）のがいじめであることを理解させる</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止対策基本法の「いじめ」定義を説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただし、『法律がいじめを禁止しているから』、いじめはしてはならないように注意する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・損害賠償や刑事罰の可能性があることを説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただし、『損害賠償されるから・刑事罰が科されるから』、いじめはしてはならないように注意する。</li> </ul>
展開3（5分） 「心の中のコップの水」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の中のコップの水の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人間の心の中にはコップがあり、いやなことがあると水がたまる。もし、相手のコップの水がいっぱいだったら、ほんの小さな悪口、いつも何気なく口にしていう「うざい」「キモイ」「死ね」など言葉でも、コップの水があふれることもある。」</li> <li>・「何気ないひとことが重大な結果を→いじめる側は意識していない場合も。」</li> <li>・このコップは外からは見えず、人によって大きさも違うことを指摘し、「相手は自分とは違う〇〇な人だから、こう感じるのでは」と一度立ち止まることの大切さを理解させる。</li> </ul>
展開4（5分） いじめる側の心の傷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめは加害者も傷つけることの説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「今は気づかないかもしれないが、いじめをすることで、いじめる側にも心に傷がつく。大人になって気がつくこともある。良心の呵責で苦しんで欲しくない。あなたが大切。いじめをしないで。」</li> </ul>
展開5（10分） ドラえもんの話	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの四層構造論をドラえもんの登場人物に例えて、いじめをなくすためにそれぞれ何ができるか考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの四層構造（いじめる子、同調する子、いじめられる子、傍観者）をドラえもんの登場人物に例えて説明する。</li> <li>・「ジャイアンはあなた自身のストレスや傷付きをいじめではない方法（信頼できる人に話す等）で吐き出して」「スネ夫はいじめをおもしろがらないで」「のび太は信頼できる人に話して心の負担を少しでも軽くして。あなたの心が大切」「しずかちゃんのはのび太に『私は味方よ、あなたは一人じゃない』と、こっそりでもいいから伝えて」</li> <li>・クラスにたくさんいるしずかちゃんが力を合わせれば、クラスの空気を変える大きな力になることを指摘する。</li> <li>・教師は、秘密は絶対に守る、いじめられた子を絶対に守ることを、改めて児童生徒に伝える。</li> </ul>
まとめ（7分）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の体験や想いを話す。</li> </ul>